

シーン - 7 新しい植林対策事業

事業目的

震災による被災地域の生活環境の保全や二次災害の未然防止を図るため、被災森林へ植栽を進めるとともに、造林未済地等に花粉の少ないスギの植栽や低コストな手法による植栽を進め、森林の公益的機能の向上を図ります。あわせて、花粉の少ないスギ増産のための施設を設置します。また、津波で被災した海岸防災林の復旧に使用するための林業種苗の増産を図ります。

事業効果

CO ₂ 年削減効果	165t-CO ₂
-----------------------	----------------------

事業内容

平成25年度事業費 24,206千円

塩害や山火事跡地への植栽、造林未済地等への花粉の少ないスギの植栽や低コストな手法による植栽に対して補助

事業主体 市町村・森林組合・林業事業者等

【平成25年度事業】

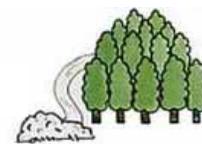
事業量 植栽面積約23ha

補助額 定額(1ha当たり100万円以内)

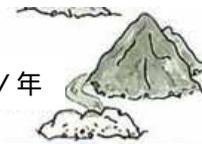


ha当たりの土砂流出量

森林
2ト/年



裸地
307ト/年



資料:丸山岩三「森林水分」実証林業大

災害発生の恐れ



土砂流出・土砂崩壊の危険性が！

このままだと...

現状



植林されない放棄地が増加

税導入後のイメージ



森林が回復し、将来にわたり、公益的機能の発揮が期待されます。